

研究区分	教員特別研究推進（地域振興）
------	----------------

研 究 テーマ	静岡市葵区井川における民具の記憶と展示に関する研究 —南アルプスユネスコエコパークパートナーシップへの貢献—				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	村橋 勲
	研究協力者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	湖中 真哉
		所属・職名	常葉大学・非常勤講師 神奈川大学大学院・非常勤講師 トーリ工房	氏名	外立 ますみ
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	村橋 勲

講演題目
民具が語る井川の歴史と文化
研究の目的、成果及び今後の展望
研究の目的 本研究の目的は、南アルプスユネスコエコパークの移行地域にあたる静岡市葵区井川において、これまでに収集された民具の展示と聞き取り調査をとおして地域の記憶を残し、伝えることである。移行地域とは、自然と調和する人々の暮らしが営まれている地域を指す。井川には焼畑、畑作、山仕事、運材流送、砂金採取、紙漉き、茶栽培、狩猟、養蚕などで山の暮らしで使用されてきた多様な民具が各家に大切に保管されている。民具は移行地域の特徴をよく示す貴重な地域資源と言える。本研究では、井川の地域住民と協力しながら、民具の価値と意味を創出、発信する。 研究の成果 令和7年度は、井川で収集された民具の聞き取り調査と展示を実施した。研究協力者の外立は、井川の地域住民とともに「井川民具の会」の結成し、その活動をとおして700点以上の民具を地域住民から寄贈していただいている。11月3日から16日の間、寄贈された民具の一部を南アルプスユネスコエコパークミュージアムで公開、展示した。また、学生が参加するフィールドワーク実習をとおして民具実測図の製作と、寄贈者や地域住民への民具に関する聞き取り調査を実施した。調査結果は、3月末に『令和7年度フィールドワーク実習報告書——静岡市葵区井川』として刊行した。これらの活動は、本学が参画する南アルプスパートナーシップの取組として静岡市HP「南プス」に掲載された。 今後の展望 令和7年度末に閉館した井川自然の家に保管されていた民具を南アルプスユネスコエコパークミュージアムに移転し、ミュージアムの民具展示の充実を図る。また、ミュージアムを利用して、民具に関連した一般向けのイベントを開催し、山の暮らしの記憶を保存し、民具の価値を発信する活動を行う。また、将来的には、現在、使われていない井川メシバの工房を活用して、民具を展示する「まちなか博物館」の実施も計画している。



エコパークミュージアムで展示した民具の一部